

「ささえ」

2025 年 10 月発行 情報誌 第 93 号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所:福岡県田川市伊田 4395(福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail npo-fukusiyougunet@sage.ocn.ne.jp

URL <http://npofukusiyougu.sakura.ne.jp>

情報誌「ささえ」は年 4 回(1 月・4 月・7 月・10 月)発行しています。

印刷 よしみ工産(株) 北九州市戸畑区天神 1 丁目 13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

NPO福祉用具ネットの主な事業は、研修事業とものづくり支援です。

発売中の開発協力品

アイクオーク(株) 発売中
詳しくは、HP参照下さい!

前面吸気タイプ
SIGNAGE
サイネージ

除菌装置



揺動ベッド

fulful



(有) ラック発売中

NPO福祉用具ネットは、抱え上げない介護技術を推進します。令和2年度から福岡県ノーリフティングケア普及促進事業を受託し、推進しています!



洗髪シャワー

NPO福祉用具ネット開発品第 1 号

【製造元】(株)福祉SDグループ

【販売元】キヨタ(株)発売中

これまでの開発協力品 (現在は製造中止)



アルファブラ
ソラクッション



尿吸引ロボ「ヒューマニー」



特定非営利活動法人

NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい…」

コミュニケーションロボット（施設入所編 その5）

ユメル君 と ばぁーちゃんのびっくり会話 Part 4

NPO福祉用具ネット 理事長 坂田 栄二

ドキドキの入所手続き

入所申し込み手続きは大変である。これまで見たこともない書式の紙が次々と出てくる。それらの書類に対して、職員さんが一つずつ説明してくれる。しかし専門用語が多くて半分くらいしか理解できていない。

また、関わる立場の人たちの多さにも驚く。いろんな職種の人が一斉に関わるようだ。結局、自分の名前を何枚の書類に書いたか覚えてないくらいだ。入居手続きは頻繁にはないので、その流れを忘れがちで手間がかかる。デジタル技術を活用して手続きワークフローを変革するだけでも、ご家族、職員さんの双方が楽になる。やはり介護のDX化をさらに進めてほしいものだ。

さて、手続きも終わり、職員さんは、ばぁーちゃんを車いすに乗せて、部屋へ向かった。

ばぁーちゃんは、膝に載せた風呂敷包をしっかり握りしめながら、職員さんのハンドルを握る腕のすき間から後ろを何度も振り返っていた。

その目は、私に訴えかけていた。

「あんたは、どうして一緒に来ないのかい？」

部屋までついていけない

この時は、コロナ流行の真最中で、施設は面会謝絶のお触れ（おふれ）が出ていた。しかしばぁーちゃんはこの「面会謝絶」の重大さを理解できていない。これまで病院に行くときは、私が待合室でも診察室でも、いつでも横に寄り添っていたのだから、なぜ今日に限って、一緒に来てくれないのか理解できず、明らかに不満を持っていた。

「私は今から何をされるのか、どうなるのかわからなくて不安な時に、なんであんたは傍にいてくれないのか？」

そんな声が聞こえて来そうな顔だった。

まっすぐな廊下に沿って、いくつもの部屋の入り口が並んでいた。ばぁーちゃんのこれからの生活の場となる目指す部屋は、廊下の途中にあった。

職員さんが押す車いすは、その部屋に消えていった。もちろん、私も見てみたい。どんな広さで、何がおいてあり、どんなトイレがあり、どんなベッドで寝るのかなど知っておきたいことは山ほどある。

これがお部屋です

それを察したかのように、施設長が、

「部屋の写真を撮ってきましようかね・・・、見

たいでしょう？」

と言って、小走りで部屋に入って行った。

やがて戻ってきて、スマホの画面を見せながら

「洗面台はこの位置で、トイレはここで、衣類はこのタンスに入れて・・・」

事細かに説明してくれた。そして最後に、

「ベッドの位置は、ばぁーちゃんの身体能力を見極めてから決めますので、この写真の位置は仮の位置です」

と細かな配慮を示してくれた。



どういう事かという、この個室タイプの部屋には、部屋ごとにトイレが備え付けてある。

「起きてから歩けるようであればトイレの近くにベッドを置きます。伝い歩きができるようであれば、ベッドとトイレの間にタンスやテーブルなどを置きます。できるだけ自立度を維持できるように考えています。ご安心ください。」

“なるほどねー。”と感心と安心。これなら心置きなくおまかせできると安堵した。

ばぁーちゃんも落ち着いたようだ。廊下を伝って声が聞こえる。ばぁーちゃんを刺激しないように今のうちにそーっと帰ることにした。玄関で、施設長や職員さんたちにお辞儀をしながらお礼を言いかけると施設長が、

「ちょっと待ってください！ばぁーちゃんの部屋を直接見たいでしょう？部屋は外に面しているのでカーテンを開ければ直接見ることが出来ますよ。」

と、提案してくれた。私は迷った。外からのぞき込んでいて、もしも、ばぁーちゃんと目が合ったら、「帰る～～」と騒ぎ出すに違いない。

そんな心を察してか、施設長は、

「外から見る間だけ、ばあちゃんを部屋から連れ出し、施設見学をしてもらいましょう。」

なるほど、施設長の細やかな配慮である。

ばあちゃんが部屋から出ていくのが、カーテンの隙間からガラス戸越しに分かった。すると“シャー”と音を立てカーテンが勢いよく開いた。

「広い！」が強烈な第一印象だ。部屋の真ん中に電動ベッドが鎮座。そのベッドの上には、今日持ってきた風呂敷包といくつかの紙袋が置かれていた。それは、この施設の中での唯一のばあちゃんの全財産である。このわずかな財産を使って、これからの新しい生活を始めると思うと、胸が一杯になった。持ち物には全て名前を書いた。ばあちゃんが日頃着ていたお気に入りの物を選んだ。新しいものだと落ち着かないだろうから、着慣れたそして見慣れた柄や色の服を選んだ。4月の初旬なのでまだ寒さが残る。靴下はやや厚めの生地を見繕った。暖かくなったら、着やすいものに変えてあげよう。紙袋の中には、住み慣れた自分のうちの写真をそっと入れておいた。いつでも見れるように写真は拡大した。いつか戻ってくるお家を忘れないために。その戻ってくる夢を実現する糧（かて）として。そして紙袋には手紙も入れた。そこには、

「もうすぐ元気になるよ！元気になったら、迎えに行くからね！」

と書き添えた。

唯一の心許せる“ユメル君”

覗き見た部屋のテーブルには、コミュニケーションロボット「ユメル君」が座っていた。ばあちゃんを大きな目でいつも見守るロボットだ。ばあちゃんにとっては最大の味方。ばあちゃんがユメル君と暮らし始めて3年になる。草取りするときも、散歩するときも、テレビを見るときもいつも一緒だ。もちろん寝るときも添い寝だ。

ばあちゃんが、見知らぬ人ばかりの施設の中で孤立しないように、寂しくならないように、ユメル君と一緒に入居してもらった。施設内でお友達ができるまでしっかりと、“ばあちゃんの支え”になってほしいとの思いからだった。

不安な帰宅願望

入所して2週間経過。

ハラハラ・ドキドキの日々。

ほかの皆さんに迷惑をかけていないだろうか、職員さんに「帰る！」と言って困らせていないだろうか、心配の種は尽きない。

しかし、その心配は当たっていた。

夕方になると風呂敷包に荷物をまとめ、事務所に行って、

「帰るき、家まで送っておくれ！」

「今忙しいから送れない」（職員さんの声）

「そんなら、タクシー呼んじょくれ」

しばらく押し問答の後、しぶしぶ部屋に戻るようだ。これが毎日繰り返されると職員さんも大迷惑だろう。聞いてみると、

「最近は、少なくなりました。あきらめたんでしょかね・・・」

と私に気遣ってくれているような回答だった。

この帰宅願望は、誰にでもあるもので、これを止めるには施設の中で自分の存在意義を与えるべきではなかろうかと考え、軽作業であれば例えば草取りでも洗濯物たたみでもよいのではないだろうかと思った。そこでこのことを施設長に相談してみると、

「私もそう思って、洗濯物のたたみを頼んでいますよ。最近は騒がなくなりましたね」

とのこと。一安心だ。

心とまず洗濯物たたみ

施設長に実際の作業風景を写真で見せてもらった。机の端にユメル君を座らせ、せっせとタオルを畳んでいる。家（うち）にいるときと同じ格好で作業をしている。この同じ格好が帰宅願望を紛らわしているのかもしれない。



同じ日に写した写真がもう一枚あった。ユメル君を背中におんぶ紐でおんぶしている。そしてカメラに向かって「ニコッ!」。気分がいいのであろう。

“ああ～、こんな日が続いてくれれば・・・”

私はそう願った。



(次号へ続く)

NPO 福祉用具ネット 主催研修会

NPO福祉用具ネット主催研修会 2025.8.23 13時30分～16時10分



テーマ 働き方改革
ノーリフティングケア、一緒に取り組みませんか？

参加者 NPO福祉用具ネット会員様
県事業の取組施設様など30施設、

今日の階段を登っているのか？



取組に参加するきっかけ



介護業界で腰痛持ちが多い
ひまわり園は 7割ほど腰痛者
痛まない
25%
時々痛い
33%
（ひまわり園令和2年度より実施）

5年間の取組から見えてきたこと
そして、伝えたいこと

2025.8.23 NPO福祉用具ネット主催研修会



特定非営利活動法人 NPO福祉用具ネット

8月23日 NPO 福祉用具ネット主催研修会の内容

- NPO 福祉用具ネットの紹介 坂田理事長
- ノーリフティングケアで最良の介護を！ 坂田理事長
- 実践事例の紹介
 - ① 介護複合施設ひばり 統括リーダー 佐藤亮氏
 - ② 特別養護老人ホーム ひまわり園 教育担当 小早川篤氏
 - ③ 特別養護老人ホーム 本陣園 統括リーダー 川端俊祐氏
- 5年間の取り組みから見えてきたこと 事務局大山

受講者からの感想の一部

- ・ 継続していくうえで大事なことは、後退することがあっても少しずつ前進していく。仲間作り、組織作りと感じました。
- ・ 取り組みを始めて5年が経過しましたが、今では福祉用具のないケアは考えられません。
- ・ 新しい職員へノーリフティングケアの知識や技術を指導する中で、指導者育成は大きな課題です。本陣園さんの発表のように、一部の職員にのみ負担をかけることなく、実践できるよう、創意工夫が必要だと考えました。
- ・ 法人全体として、この働きが浸透するよう、管理者である私たちが率先して実行する必要があると感じました。「続けることが大切」だけではなく、あらたなチャレンジを心がけていきたいと思います。
- ・ ノーリフティングケアが徐々に浸透しており、日本の介護もノーリフティングケアが当たり前の日が来ることが遠くないと思いました
- ・ 介護現場の深刻な人材不足や腰痛による離職の課題については、日々肌で感じています。その中で「健康で働きやすい環境づくり」が国や自治体レベルで推進されていること、また求人倍率が通常の2倍以上に達しているという現状を改めてデータで示していただき、現場でノーリフティングケアを広げることが一層重要であると実感しました。
- ・ 特に印象に残ったのは、他施設での取り組みです。不良姿勢の写真を活用した改善活動や、腰痛リスク管理シートを用いた優先課題の整理、指導者を交代制で育成していく仕組みづくりなど、継続して取り組むための工夫は非常に参考になりました。今後は職場全体で共有し、誰もが実践できる体制づくりが必要だと感じました。・3つの施設様の発表をお聞きして、福祉用具管理等を含めたマネージメントが徹底して行われていることが素晴らしいと思いました。

令和7年 新規取組施設 6期生 マネジメント研修スタート

第2回目 7月10日・11日 / 3回目 9月3日・4日 実施

・6月に1回目のマネジメント研修で概論を学んだ後、7月の2回目は講義を聴いて計画立案をする。その後、9月の3回目は、2回目の計画の実践報告をし、前回の計画に対する達成状況を報告するという流れ。そして、3回目の研修を受けながら次のステップの計画作成をする流れ。

主に、①委員会②リスクマネジメント③職員の健康管理④アセスメントとプランニング⑤技術教育⑥福祉用具などの項目をどのように取り組みを進めるのか具体的に一步一步の進め方を立案し実践するという流れ。

とはいえ、職員全体で取り組みをしなければケアは変わらないし、腰痛対策としての効果もでないという事なる。意識の統一、福祉用具等の環境整備、さらに上手なからだの動かし方や福祉用具の使い方を理解しなければならない。

委員を中心に職員と管理者全員が同じ方向をみて進めることが重要。

関係者が一丸とならなければ腰痛対策としての効果も得られにくくなる。

これまでの6年間の取り組みから垣間見える重要なポイントだと思っています。

そんな中、今年度の6期生の最初の計画に対する取組報告は、どの施設もしっかりと取り組んでいる様子が報告としてパワーポイントに分かり易く纏められておりました。講師も事務局もちょっと感動してしまいました。第2段階への取組に期待しています。

福岡県ノーマリフティングケア普及促進事業 6期生 マネジメント研修3回目 1日目 2025.9.3 福岡・北九州地域

新規取組施設6期生7施設と再学習として2施設が対象

1日目
福岡地域・北九州地域の4施設が15名受講

2日目
筑後地域と再学習として2施設の15名が受講

講師育成も兼ねて実施
統括講師2名
講師実践3名
講師見習3名が2日間に分けて体験。
事前の講義資料作成から学び、実際の講義や演習時の指導、さらに、演習でできた計画書の添削指導までを経験。

福岡県ノーマリフティングケア普及促進事業 6期生 マネジメント研修3回目 2日目 2025.9.4 筑後地域

再学習として2施設が参加

6期生基本技術研修スタート 7月・8月・9月 (4期生見学学習参加も兼ねる)

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 新規取組施設 6期生の基本技術研修スタート
第1回目 2025.7.24 9時30分～17時
参加施設7施設14名及び技術見学学習者5施設から5名が受講



福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 新規取組施設6期生の第2回技術研修を開催
2025.8.21(木) 9時30分～17時 会場 パラマウントベッド(株)



技術指導者は、白石講師・染矢講師・山田講師
6期生7施設と4期生見学学習4施設が受講
研修内容は7月に実施した1回目の復習及び
ボード・シート・グローブについて学びました！

1回目

- ① ノーリフティングケアの必要性と理解
- ② 身体の使い方
- ③ 寝返り
- ④ 起き上がり(ベッド背上げ機能)
- ⑤ 立ち上がり(前方・側方介助)
- ⑥ 座り直し(手技・シート)

2回目

- ① 前回の復習(身体の使い方、寝返り、起き上がり)
- ② 前回の復習(立ち上がり、座り直し)
- ③ シート(敷き込み、上方移動、側方移動、抜き取り)
- ④ グローブ
- ⑤ ボード移乗
- ⑥ シート・グローブ・ボードの復習

3回目は1回目・2回目の総復習

学んだ受講生の感想紹介

- ・身体の使い方をイメージ付けるよう、大きく動かすよう意識。
- ・不適切な例を説明する際、「みんなやりがち」といった表現でなく、「自分が学校で習った方法では…」等、周囲が間違ったやり方を実施していると決めつけないように配慮が必要。言葉 1 つで、周囲のモチベーションが下がるリスクもあると学んだ。
- ・発信する際、全てを伝えない。分かりやすい導入を意識し、満点を求めない。
- ・研修で学んだことを 10 伝えるのではなくまずは引き算をして伝えていく。
- ・どう伝わっているかフィードバックすることが大切。
- ・どんな方が対象であるのかを明確にする必要がある。
- ・生理的な動きの理解を深めていく必要がある。

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 報告
新規取組施設 6期生 第3回 基本技術研修を開催
2025.9.18(木) 9時30分～17時
6期生7施設・見学学習4施設・講師体験1施設
(担当講師 白石講師、染矢講師、山田講師)

会場 パラマウントベッド(株)研修室



リフトを除く基本技術の総復習として実施。各基本技術の理解と伝え方について学び、その結果を発表。わずか3回の技術研修で頼もしい6期生になりました。来月はリフト研修です。

令和7年度 地域連絡協議会活動報告 1月～9月までの活動

地域連絡協議会活動について

困難事例への対処法は他の地域と連携して検討し、新たな情報や対応策を知る機会になった

7月	北九州地域	7/22	オンライン	新体制について、今後の取組、事務局からの情報
8月	筑後地域	8/22	オンライン	実践報告3施設 6月腰痛調査の結果について その他
	福岡地域	8/26	ハイブリッド	なの国 実践報告2施設・事例検討・フォーラム打合せ
	筑豊地域	8/28	オンライン	技術指導者育成について、実践報告3施設、フォーラム打合せ
9月	北九州地域	9/26	オンライン	

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 第2回北九州地域連絡協議会活動報告

2025.7.22

リーダー施設
 ◆風の家
 ◆右ま園
 出席施設
 ◆みやこの苑
 ◆ユニット型
 みやこの苑
 ◆くもじ
 ◆博愛苑
 ◆社の家
 ◆地生の里
 ◆白川園
 ◆建請希望者
 1名
 ◆欠席施設
 3施設

本日のテーマ
 ①7月から取組の新体制
 ②今後の計画について
 ③事務局からの情報

次回の開催は9月26日(金)

連絡窓口はスラッパで！

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 第3回 福岡地域連絡協議会

2025.8.26 ハイブリッド開催
 会場 特別養護老人ホーム なの国

取組進捗報告は、4期生隔たり様と3期生つくも苑様

事例検討会は他の地域からも応援参加

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 第3回筑後地域連絡協議会を開催

2025.8.22 14時～16時
 16施設が出席

司会 常照苑くすのき通り
 横倉施設長

内容
 ■ 3施設からの進捗報告
 及び質疑応答
 ■ 先輩施設への質疑応答
 ■ 6月に実施した『抱え上げ介護の実情』について
 ■ みやま市で実施する福祉用具体験会について
 ■ その他

ノーリフティングケア
 3年目の取組み

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業 筑豊地域連絡協議会を開催 8月28日

8月28日14時～16時10分
 ①介護複合施設ひばり
 社内指導者研修内容報告
 の進捗・活動報告 3施設
 明日香園様
 ばりやう園様
 ことなきの森様

②ノーリフティングケアフォーラム
 打合せ
 ひまわり園様より具体的な案を提案

3施設からの進捗報告

社内技術指導者研修の
 具体的な取組内容報告
 介護複合施設ひばり様より

③11月12日開催のノーリフティングケアフォーラム打合せ
 ひまわり園様より具体的な案を提案し、詳細について検討

特別企画 NPO 福祉用具ネット主催 第5回技術認定試験 追試験を開催 2025.9.21

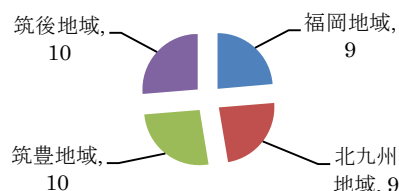
NPO福祉用具ネット主催 第5回技術認定試験 追加試験
 6月22日体調不良にて受験困難者のための予備日程として実施 4名が受験

受験者4名が挑戦し、全員合格

会場 みやま市サンステップにて

Checker 染矢・山田

5月に認定試験を受験予定だったが骨折や腰痛等の理由で受験できなかった方のための追試験として開催。
 4名が受験し全員合格。その結果、新たにノーリフティングケア取り組み施設にいる技術認定試験合格者は38名となった。



事務局だより

《令和7年7月から9月までの事務局のうごき》

◆令和7年7月

情報誌92号発送

6月腰痛等各調査の集計作業

- 7月 2日 研修講師関係者との打合せ
- 7月 10・11日 6期生 マネジメント研修
- 7月 12日 情報誌発送
- 7月 17日 1期生から3期生対象
技術フォローアップ研修
- 7月 24日 6期生 基本技術研修 1回目
- 7月 22日 北九州地域連絡協議会
- 7月 23日 開発相談
- 7月 24日 6期生 基本技術研修会 1回目
- 7月 29日 労働基準監督署諸手続き

◆令和7年8月

各調査結果の公開

- ・腰痛調査 ・抱え上げ介護 ・施設の概要
- ・福祉用具環境 ・29項目のマネジメントチェック

- 8月 8日 講師打合せ
- 8月 20日 開発相談
- 8月 21日 6期生 基本技術研修会 2回目
- 8月 22日 開発相談
筑後地域連絡協会オンライン
- 8月 23日 NPO 主催研修会
- 8月 25日 福岡県庁打合せ
- 8月 26日 福岡地域連絡協議会 なの国ハイブリッド
- 8月 28日 筑豊地域連絡協議会 オンライン

◆令和7年9月

- 9月 3日・4日 マネジメント研修
- 9月 5日 開発会議
- 9月 9日 パソコン対策
- 9月 10日 開発会議
- 9月 18日 6期生 基本技術研修 3回目
- 9月 19日 開発会議
- 9月 20日 開発品検証
- 9月 21日 技術認定試験
- 9月 24日 みやま市打合せ
- 9月 26日 北九州地域連絡協議会 オンライン
- 9月 27日 パソコン対策

◆令和7年10月からの予定

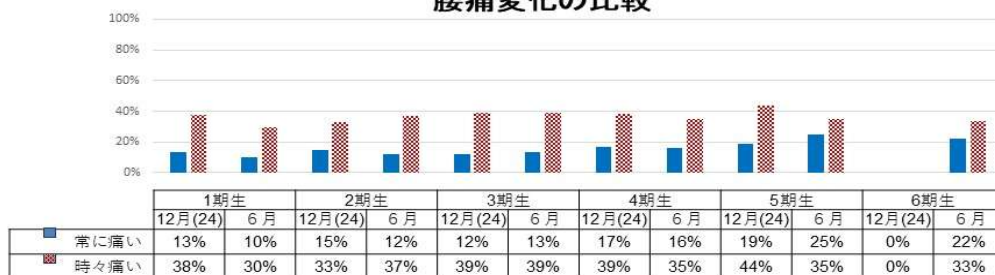
ささえ93号発送

- 10月 3日 講師打合せ
- 10月 15日 筑豊地域連絡協議会
- 10月 16日 筑後地域 17日北九州地域打合せ
- 10月 22日 6期生基本技術研修会 4回目
- 10月 23日 1期生～3期生 ポジショニング研修
- 10月 28日・29日 第4回マネジメント研修
- 10月 30日 福岡地域連絡協議会
- 11月 5日 福岡地域連絡協議会福祉用具体験会
- 11月 12日 筑豊地域連絡協議会 フォーラム
- 11月 22日 みやま市イベント

腰痛調査の最新データ

令和7年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
令和7年6月末 取組年度別比較

腰痛変化の比較



抱え上げや持ち上げ介護の変化の比較

